

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36287
事業名	MICE推進費					
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE				
	課長名	西村	担当者名	塩見	電話番号	211-2376
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	国際会議(JNTO基準)参加者総数 2018:60,659人 ⇒ 2022:74,100人			
		長期	札幌MICE総合戦略に基づく積極的な誘致戦略を展開することにより、関連産業の振興による地域経済の活性化、札幌の国際的知名度の向上に資することを目的とする。			
	取組内容	国際会議やインセンティブツアー等のMICEを積極的に誘致するため、誘致活動を展開。①さっぽろMICE推進委員会への負担金:海外MICE見本市出展等、②コンベンションビューロー運営費補助金:札幌コンベンションビューローの運営費を補助、③コンベンション誘致促進助成金:コンベンション開催経費への助成、④インセンティブツアー誘致促進サポート制度:インセンティブツアーのアトラクション等提供、⑤コンベンションシャトルバス補助金:会場等を結ぶシャトルバスの費用補助⑥ハイブリッドコンベンション助成金:ハイブリッド開催する際のオンライン配信に係る経費への助成、⑦グローバルMICE都市事業:観光庁が実施するMICE誘致・開催に関する支援事業への参加				
実施結果	①MICE専門見本市やインセンティブ旅行セミナーにオンライン出展し、誘致活動を実施した。 ②コンベンションビューローの人件費や事業費の一部に対する補助金を交付した。 ③・④・⑤・⑥経済効果等が高いと見込まれるコンベンション(1件)への助成金交付により開催決定につなげたり、現地開催が難しい状況下でハイブリッド開催する際のオンライン配信に係る経費へのための助成金(6件)を交付した。					
事業実施における工夫点	札幌国際プラザ・コンベンションビューローを札幌におけるMICEのワンストップサービス窓口として位置付け、組織の専門性を高めながらサービス機能向上を図っている。					
対象者	MICE主催者・参加者、関係事業者	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条約・要綱等	札幌市コンベンション誘致促進助成金交付要綱、札幌市インセンティブツアー誘致促進サポート要綱、札幌コンベンションシャトルバス助成金制度要綱、札幌市ハイブリッドコンベンション助成金交付要綱					
他都市の状況	観光庁が選定したグローバルMICE都市(東京、横浜市、愛知県名古屋市、京都市、大阪府大阪市、神戸市、福岡市、仙台市、千葉県千葉市、広島市、北九州市)をはじめとする各都市においてMICE誘致の取組が実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	92,468	163,000	111,788	193,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.0	0.0	0.0	2.2	
人件費	0	0	0	15,840	
計(事業費+人件費)	92,468	163,000	111,788	208,840	
事業費の内訳	令和3年度決算	①札幌MICE推進委員会への負担金10,000千円、②コンベンションビューロー運営費補助金81,996千円、③コンベンション誘致促進助成金3,000千円、④インセンティブツアー誘致促進サポート制度0円、⑤コンベンションシャトルバス助成金0円、⑥ハイブリッドコンベンション助成金5,578千円、⑦コンベンション市場調査等9,849千円			
	令和4年度予算	①札幌MICE推進委員会への負担金14,750千円、②コンベンションビューロー運営費補助金88,250千円、③コンベンション誘致促進助成金49,000千円、④インセンティブツアー誘致促進サポート制度5,000千円、⑤コンベンションシャトルバス助成金2,000円、⑥ハイブリッドコンベンション助成金20,000千円、⑦札幌MICE総合戦略策定支援業務10,025千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	MICE見本市等での年間商談件数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
		350件	218件			
活動指標2	指標名	インセンティブツアー誘致の年間支援件数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
		80件	0件			
成果指標1	指標名	国際会議(JNTO基準)参加者総数				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
		71,296人	R4.12確定予定	74,100人		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	新型コロナウイルスの影響により、世界的に国際会議やインセンティブツアーの開催や商談・セミナーなどの誘致活動に制約の係る厳しい状況であったが、オンラインでのMICE専門見本市への出展等を通じて、コロナ禍における各国のMICEの状況を把握するなど将来的なMICE誘致を見据え、事業を展開した。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	国際会議、インセンティブツアー等の開催や、商談等の誘致活動に制約のかかる状況であったことから、一時的に事業規模が縮小している。今後のMICEの市場動向に注視しつつ、アフターコロナにおけるMICEの誘致・開催に向け、関係者に対して訴求力の高い誘致手法や支援制度を検討し、適正な事業規模についても検討していく。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	B	札幌市、札幌国際プラザコンベンションビューロー、観光・経済団体、民間事業者、大学などの産官学が一体となった機能的な誘致を目指すとともに、アフターコロナにおけるMICE誘致に向け、より効果的な連携体制の検討を行う。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	B	これまでも対象者の満足度を高められるよう、必要な情報やサービスの提供に取り組んできたが、アフターコロナのMICE市場の動向を注視し、より満足度が高まるような情報やサービスの提供手法について検討していく。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映		
今後の改善点	アフターコロナにおけるMICEを見据え、MICE市場の動向や主催者、参加者等のニーズを踏まえ、次期札幌MICE総合戦略策定過程の中で、より効果的な支援メニューや誘致手法等について検討を行っていく。					
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	特になし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	新型コロナウイルスの影響により、国際会議等のコンベンションやインセンティブツアーの開催が困難な中、ウィズコロナにおけるコンベンションの開催手法の模索や、オンラインによる誘致活動、コンベンション市場動向の調査を行うなど、アフターコロナも見据えた事業を展開した。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 次期札幌MICE総合戦略策定支援業務の内容を踏まえ、アフターコロナにおけるMICEの誘致・開催に係る支援メニューについて検討していく必要がある。				
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他			見直し効果額	0
		次年度については、現在の助成金制度等を維持する予定である。				